

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 12	
企画名	非癌の看取りにおけるコンフリクトマネージメント
日時	2017年5月13日（土） 15:00～16:30
会場	第6会場（サンポートホール高松 ホール棟 7F 第3リハーサル室）
企画責任者	小田 浩之（飯塚病院）
定員	24名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>良い医療を行いたいという思いは同じでも、方法論における対立は不可避です。総合医には、異なる価値観の感情的対立を回避し、建設的な対立としてゆく力が求められます。対立を乗り越えることで関わった人たちの新たな気づきを持ち、より広い視野を獲得することは、患者さんやその家族に適切な医療を提供につながります。対立に向き合うことは関わる方々をより生かす道であること、対立を回避することは一時的には丸く収まっても、結果的には自分を含めた関係者の力を削ぐことになるということ等を共有し、健全な対立文化について考えていきたいと思えます。</p> <p>【概要】</p> <p>繰り返す誤嚥性肺炎、尿路感染症、そして、CD 関連腸炎、衰弱する患者、確保困難となる末梢ルート。経管栄養は続けるのか、止めるのか。総合的に考え、患者・家族を中心に診療を進めていても、周囲の言葉で倫理観が揺さぶられるのが非癌の看取りです。</p> <p>どこまで、侵襲的な治療を行うのか。治療自体が本人を苦しめていないか。本人・家族の思いは整理されているか。医療チームの思いにずれはないか。関わるメンバーに発生する思いのズレから発生するコンフリクトを、立場の違い、認知の違い、心情面のズレを整理しつつ、どうマネージするかを参加全員で考えてゆきます。</p> <p>実際の症例で発生したコンフリクトを題材に、コンフリクトマネージメントのフレームを使って、参加者でゴールの最適化を目指して行きます。</p>	